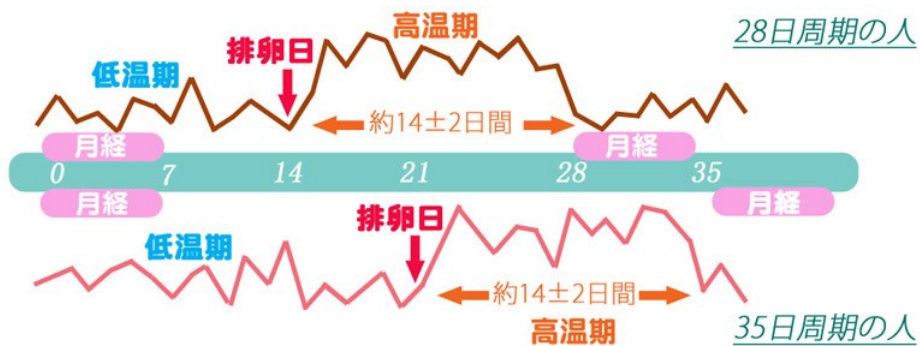


## わかりやすい妊娠週数一覧表

しかし、この定義では「排卵日がいつなのか＝赤ちゃんがいつできたか」が定義されていないため、生理不順などで排卵が遅れている場合は、胎児の発育が遅いと判断されてしまいます。そこで現在は、最終月経開始日から14日後の「妊娠2週0日」を排卵日(＝赤ちゃんができた日)として妊娠週数を計算しています。月経周期(生理が始まった日から次の生理が始まるまでの期間)が28日の人の場合は、すぐに妊娠週数が計算できますが、月経周期が28日より長かったり、周期がばらばらな人の場合は、正確な週数が分かりません。そこで、それぞれの場合の妊娠週数の計算のしかたを、次に紹介します。

### ○月経周期が28日で一定している人の場合

最終月経開始日を「妊娠0週0日」として、そのまま妊娠週数を出します。



### ○月経周期が35日で一定している人の場合

月経周期が35日の人は、月経周期が28日の人に比べて、排卵日(赤ちゃんができた日)が7日遅れているという考え方をするため、妊娠週数も7日遅らせて計算します。

### ○月経周期が一定していない人の場合

月経周期が一定していない人の場合は、「低温期から高温期に移行する日」を排卵日とし、この日を「妊娠2週0日」として、妊娠週数を計算します。

			胎児の変化	母胎の変化	薬剤の影響	
0		0		最終生理開始日	妊娠していないので薬の影響は基本的にはありません。	妊娠 1 ヶ月
1		1		生理二日目		
2	妊 娠 0 週	2		この表は生理が28日周期が 規準になっています。		
3		3				
4		4				
5		5				
6		6		生理周期は人によって異なり、 また、不規則な方も多いので すべてに当てはまりません。		
7	妊 娠 1 週	0				
8		1				
9		2				
10		3				
11		4				
12		5	精子の生存期間およそ72時間			
13		6	(長い場合は7日間とも)			
14	妊 娠 2 週	0	受精成立 受精卵は次々と細胞分裂して 子宮へと移動していきます。	排卵日 (卵子の生存期間24 時間) 受精成立	受精卵はこの時期はまだ子宮 に潜り込んでいません。 母親が飲む薬の影響は少ない とされています。 とはいえ、市販の薬を素人判 断でとることは勧められませ ん。 かかりつけの産婦人科か、薬 局にご相談ください。	
15		1	徐々に卵管内から子宮へと移 動			
16		2				
17		3				
18		4				
19		5	着床 (ここではじめて妊娠が 成立します)。 人によっては着床出血がある こともあります。	妊娠成立		
20		6				
21	0					
22	妊 娠 3 週	1	妊娠成立 ↓ 着床してhCGホルモンが 徐々に出始めます。 hCGホルモンは妊娠検査薬 が反応するホルモンです。	早い人はこのころから具合が 悪かったり眠かたりしますが、 生理前にもよくなる症状な ので判別はつきにくいです。		
23		2				
24		3				
25		4				
26		5				
27	6					

28	妊娠 4週	0	4週目後半から胎嚢が子宮内に確認され始めます。	本来なら生理予定日。 徐々に妊娠検査薬に反応しはじめます。	28日から50日までは絶対過敏期と呼ばれ、一番薬の影響が大きいと言われています。体の重要器官が分化する時期です。	妊娠 2ヶ月	
29		1					
30		2					
31		3					
32		4					
33		5					
34		6					
35	妊娠 5週	0	5週目から心拍が確認されるようになります。	高温相が3週間続いたら妊娠を考えましょう。 生理予定日から1週間後に妊娠検査薬を使えます。	28日から50日までは絶対過敏期と呼ばれ、一番薬の影響が大きいと言われています。体の重要器官が分化する時期です。	妊娠 2ヶ月	
36		1					
37		2					
38		3					
39		4					
40		5					
41		6					
42	妊娠 6週	0	5週目から心拍が確認されるようになります。	流産の多い期間なので負担の少ない生活を。 12週までの流産を早期流産といいますが、流産の98%が早期流産です。	28日から50日までは絶対過敏期と呼ばれ、一番薬の影響が大きいと言われています。体の重要器官が分化する時期です。	妊娠 2ヶ月	
43		1					
44		2					
45		3					
46		4					
47		5					
48		6					
49	妊娠 7週	0	胎嚢の中に胎芽が観察されるようになります。	流産の多い期間なので負担の少ない生活を。 12週までの流産を早期流産といいますが、流産の98%が早期流産です。	28日から50日までは絶対過敏期と呼ばれ、一番薬の影響が大きいと言われています。体の重要器官が分化する時期です。	妊娠 2ヶ月	
50		1					
51		2					
52		3					
53		4					
54		5					
55		6					
						51日から84日までを相対過敏期と呼びます。	

<http://www.pixy.cx/~kamosika/1/syusu.htm> より引用